

気象集誌

第81巻 (平成15年) 総目次

2003

論文

Youmin TANG・William W. HSIEH: ハイブリッド結合モデルとデータ同化による ENSO 現象のシミュレーションと予報	1	1-19
Ibrahim HOTEIT・Dinh-Tuan PHAM: 縮小状態空間の時間発展とカルマンフィルターに基づくデータ同化法	1	21-39
Karumuri ASHOK・管 兆勇・山形俊男: エルニーニョとインド洋のダイポール関係についての考察	1	41-56
Wilhelm MAY: 高解像度大気大循環モデルに現れるインド夏季モンスーンとその海面水温分布に対する依存性	1	57-83
楠 昌司・小林ちあき: 大気の季節予測可能性実験による確率予報の精度評価	1	85-112
河谷芳雄・高橋正明: 高解像度 AGCM を用いた梅雨前線シミュレーション	1	113-126
石戸谷重之・青木周司・中澤高浩: 質量分析計を用いた大気中 O ₂ /N ₂ 比の高精度測定	1	127-140
藤部文昭: 首都圏における暖候期晴天日午後の地上風系の長期変化	1	141-149
矢吹正教・塩原匡貴・小林 拓・林 政彦・原圭一郎・長田和雄・久世宏明・竹内延夫: 船上観測による東京からフリーマントル (オーストラリア) 間の海洋境界層のエアロゾル光学特性	1	151-162
二宮洸三・柴垣佳明: 1991年7月1~10日に観測された梅雨前線雲システム家族	2	193-209
柴垣佳明・山中大学・北 (深瀬) 美紀・橋口浩之・前川泰之・深尾昌一郎: MU レーダーによって観測された台風9426号 (Orchid) のメソ α スケール風速場と降水雲	2	211-228
陳 敬陽・上田 博・李 東仁: レーダー反射因子を用いた梅雨期の降雨タイプの客観的分類	2	229-249
Keqin DUAN・Tandong YAO: 地球温暖化に伴うヒマラヤのモンスーン変動	2	251-257
梶川義幸・安成哲三・川村隆一: インド洋の東西非対称偏差に対する西部太平洋の局所ハドレー循環の役割	2	259-276
馬 耀明・石川裕彦・塚本 修・Massimo MENENTI・Zhongbo SU・王 介民・姚 檀棟・小池俊雄・安成哲三: 土地利用が非一様なチベット高原を対象とした衛星データを用いた地表面フラックスの算出	2	277-293
廣田道夫・宮川幸治・吉松和義・柴田清孝・永井智広・藤本敏文・牧野行雄・内野 修・赤木万哲・H. FAST: ECC オゾンゾンデで観測された1999/2000年のカナダ・ユーレカ基地上空における成層圏オゾンの減少について	2	295-304
Toni PUJOL: 放射対流次元モデルにおける最大散逸過程の渦熱拡散	2	305-315
米山邦夫: 熱帯西部太平洋海域における湿度変動	2	317-337
Chung-Chieh WANG・George Tai-Jen CHEN: TAMEX における異なるフルード数の流れのレジーム下での風下メソ低気圧の形成	2	339-365

清野直子・吉門 洋・小林文明・佐藤純次・つくば域降雨観測実験グループ： 関東で観測された局地前線の鉛直構造……………	2	367—391
久芳奈遠美・岩渕弘信・圓山憲一・早坂忠裕・武田喬男・藤吉康志： 非降水性層状水雲の光学特性に及ぼす雲凝結核の影響に関する パラメタリゼーション……………	2	393—414
Gareth P. WILLIAMS：ジェットセット……………	3	439—476
望月 崇・木田秀次：北太平洋十年規模変動に見られる 中緯度海面水温偏差の維持機構……………	3	477—491
青木一真・藤吉康志：スカイラジオメーターを用いた札幌上空のエアロゾルの 光学的特性の観測……………	3	493—513
村上正隆・山田芳則・松尾敬世・岩波 越・John D. MARWITZ・ Glenn GORDON：日本海上に発生した背の高いバンド状降雪雲を 構成する対流セル内の降水機構……………	3	515—531
管 兆勇・Karumuri ASHOK・山形俊男：インド洋のダイポール現象に伴う 海面水温アノマリーへの熱帯大気夏季の応答……………	3	533—561
箕浦大介・川村隆一・松浦知徳：南アジア夏季モンスーンのオンセットの メカニズム……………	3	563—580
久保田拓志・寺尾 徹：エルニーニョ・南方振動に関連する熱帯対流圏温度の 季節規模持続性……………	3	581—598
行本誠史・北村佳照：結合 GCM におけるエルニーニョの不規則性の研究……………	3	599—622
小川 智・余 偉明・岩崎俊樹・王 自発：海風前線と対流混合層中の 対流セルとの相互作用に関する数値実験……………	4	635—651
大島慶一郎・渡辺知弘・二橋創平：オホーツク海の表面熱収支（1987-2001年）と、 海水の熱収支における役割……………	4	653—677
D. W. SHIN・S. COCKE・T. E. LAROW：台風降水予報のための アンサンブル予報の構成……………	4	679—696
二宮洸三・西村照幸・鈴木恒明・松村伸治・大淵 濟：大気大循環モデルで 発生したアジア大陸東岸のポーラーロー……………	4	697—712
川島正行：スコールライン型対流システムの数時間周期変動における重力波の役割……………	4	713—746
Diana DANEVA・柴田 隆・岩坂泰信・長谷正博・白石浩一・林 政彦・ 藤原玄夫・Roland NEUBER：ライダー観測された「サンドイッチ構造」 を示す極成層圏雲粒子の混合状態. Part1：PSC 粒子の混合状態の確定……………	4	747—757
Diana DANEVA・柴田 隆：ライダー観測された「サンドイッチ構造」を示す 極成層圏雲粒子の混合状態. Part2：外部混合した STS と NAT 粒子に よる液体と固体粒子の光学特性の数値シミュレーション……………	4	759—777
Raghavendra G. ASHRIT・Herve DOUVILLE・Kolli RUPA KUMAR： CNRM 結合モデルにおける温室効果増大に対するインドモンスーン および ENSO モンスーンテレコネクションの応答……………	4	779—803
飯塚 聡・折戸光太郎・松浦知徳・千葉 長：積雲対流パラメタリゼーションが 大気海洋結合モデルで再現される ENSO 的な変動に与える影響……………	4	805—827
岡本典子・山中大学・荻野慎也・橋口浩之・西 憲敬・Tien SRIBIMAWATI・ 沼口 敦：インドネシアにおける対流圏風速場の季節変化：1992—99年 における高層気象観測資料と NCEP 客観解析データの比較……………	4	829—850

菊地一佳・高数 縁：北半球の MJO に伴い赤道域を一周する水蒸気シグナル ……	4	851—869
伊賀啓太・渡部 威：弱いエネルギー散逸を伴った準地衡流乱流のスケーリング則…	5	895—907
阿部 学・鬼頭昭雄・安成哲三：山岳上昇に関連する夏季アジアモンスーンの発達 一気象研究所大気海洋結合モデルを用いたシミュレーション— ……	5	909—933
笠原 彰：地球回転角速度の水平成分の項を含めた非静力大気モデルについて ……	5	935—950
玉木克美・宇加治一雄：傾斜した底面をもつ回転水槽中に生じる分散性の傾圧波動…	5	951—962
Myong-In LEE・In-Sik KANG・Brian E. MAPES：水惑星上の 熱帯季節内変動実験における対流パラメタリゼーションの影響 ……	5	963—992
加藤輝之・吉崎正憲・別所康太郎・井上豊志郎・佐藤芳昭・X-BAIU-01観測 グループ：X-BAIU-01期間中に観測された豪雨のシミュレーションの 失敗の原因—数値シミュレーションにおける水蒸気の 鉛直プロファイルの重要性— ……	5	993—1013
都田菊郎・J. L. KINTER・S. YANG：南アジアモンスーンおよび チベット高原上のプレモンスーンシグナルにおける ENSO の役割 ……	5	1015—1039
仲江川敏之・杉 正人・松丸圭一：AGCM 長期積分実験に基づく 季節平均水資源量の潜在的予測可能性に関する研究 ……	5	1041—1056
猪上 淳・小野 純・立花義裕・本田明治・岩本勉之・藤吉康志・竹内謙介： 寒気吹き出し時の海水に覆われたオホーツク海上の熱輸送特性 ……	5	1057—1067
湯本道明・松浦知徳・飯塚 聡：高解像度大気海洋結合モデルで再現された 北西太平洋における台風発生数の数十年変動 ……	5	1069—1086
Jung-Moon YOO・C. PRABHAKARA・R. IACOVAZZI, Jr.： マイクロ波衛星観測とモデル再解析から得られた 地表面射出率と雲粒子・降水粒子について ……	5	1087—1109
Mahadevan PATHMATHEVAN・小池俊雄・李 新： 土壌水分と地温プロファイルの時空間変化算定のための 衛星データを用いたデータ同化アルゴリズムの開発 ……	5	1111—1135
上野 充：ステアリング係数の概念と鉛直シア実験で得られた台風渦への適用 ……	5	1137—1161
Ming-Jen YANG・Quen-Chi TUNG：4つの積雲対流スキームを 用いた台湾域での降水予測実験の比較 ……	5	1163—1183
S. K. DHAKA・高橋正明・河谷芳雄・S. MALIK・柴垣佳明・深尾昌一郎： 熱帯域における深い積雲対流内の上昇流の観測と重力波生成への役割 ……	5	1185—1199
Haiyan HE・Chung-Hsiung SUI・Maoqiu JIAN・Zhiping WEN・ Guangdong LAN：対流圏の温度場の季節進行と 夏のアジアモンスーンとの関係 ……	5	1201—1223
Sung-Dae KANG・木村富士男：北西太平洋亜熱帯高気圧の変動に及ぼす 熱帯 SST の影響 Part I：線形的ロスビー波伝搬に関する数値実験 ……	5	1225—1242
山田広幸・耿 驃・Krishnareddigari Krishna REDDY・上田 博・藤吉康志： 長江下流域で発生した梅雨前線上の低気圧に伴う メソスケール対流システムの3次元構造 ……	5	1243—1271
高橋日出男：1992年6月中～下旬のチベット高原東側における梅雨前線擾乱の 初期形成過程に関する事例解析 ……	6	1303—1327
川村隆一・松浦知徳・飯塚 聡：南アジア夏季モンスーンシステムに及ぼす エルニーニョ南方振動の赤道対称インパクト ……	6	1329—1352

Yunfei FU・Guosheng LIU: TRMM の PR と TMI で観測された 中緯度東アジアの降水の特徴	6	1353—1369
岡島秀樹・謝 尚平・沼口 敦: 熱帯気候変動の南北相関における 熱帯収束帯の影響	6	1371—1386
二宮洸三・榎本 剛・西村照幸・鈴木恒明・松村伸治: AGCM で現れた 梅雨前線の総観およびメソ α 規模変動	6	1387—1405
牛山朋来・川島正行・藤吉康志: TOGA-COARE における ドップラーレーダー観測によって得られた雲システムの加熱分布	6	1407—1434
Sophie FUKUTOME・Christoph FREI・Christoph SCHAR: 日本の夏季降水量と北西太平洋海面水温の年々変動との共分散	6	1435—1456
白石浩一・藤原玄夫・柴田 隆・岩坂泰信: 1994/95—1996/97 冬季ニーオルセン上空での極成層圏雲のライダー観測 —温度と温度履歴の極成層圏雲への影響について—	6	1457—1470
猪股弥生・岩坂泰信・森本真司・塩原匡貴・町田敏暢・菅原 敏: 北極下部成層圏における硫化カルボニル (COS) の濃度と 成層圏—対流圏空気塊輸送	6	1471—1483

要報と質疑

Sergio H. FRANCHITO・V. Brahmananda RAO: 南北半球での温度勾配と 熱輸送の相関	1	163—168
部辺羅諏訪人・山形俊男: インド洋のダイポール現象が南方振動に及ぼす影響	1	169—177
池田元美・Jia WANG・Alexander P. MAKSHITAS: 北極海海水の 減少トレンドと10年周期変動における雲の重要性	1	179—189
安中さやか・花輪公雄: 北半球海面水温場に見出されたレジームシフト: 熱帯変動に関する再訪	2	415—424
大崎祐次: W バンド帯電波を使った衛星搭載型雲レーダにより観測された ドップラ速度の誤差のシミュレーションによる評価	2	425—435
Hans-Joachim LUTZ・井上豊志郎・Johannes SCHMETZ: MODIS データを 用いた Split-window 法と多チャンネル法による雲分類の比較	3	623—631
橋本明弘・播磨屋敏生: 梅雨期における雨滴粒径分布の変化特性	4	871—878
Jau-Ming CHEN・C.-P. CHANG・Tim LI: NCEP/NCAR 再解析データを 使った南シナ海海面水温の年変化の解析	4	879—884
山本 勝: 金星下層雲のフィードバック加熱が引き起こす重力波と対流セル	4	885—892
佐々木太一・伍 培明・木村富士男・吉兼隆生・劉 晶淼: チベット高原南東部における夕方の可降水量急増	5	1273—1281
植田宏昭・堀 正岳・野原大輔: 筑波山の斜面温暖帯観測	5	1283—1288
栗原和夫: 日本の夏の地上気温の準6年周期変動	5	1289—1297
久芳奈遠美・岩淵弘信: 雲粒数密度を予測するパラメタリゼーションと CCN 数密度のリトリーバル法の改良 (補足)	6	1485—1487
渡辺幸一・朴木英治: 2002年11月の黄砂現象について: 富山県における エアロゾル粒子個数濃度および降水中の化学成分	6	1489—1495
武田喬男・小山 亮: 台風の低 TBB 雲域の周期的時間変化	6	1497—1503

Stefan HASTENRATH: 部辺羅諏訪人等 (2003) による

「インド洋の大ポール現象が南方振動に及ぼす影響」

(気象集誌第81巻169-177頁) についての質問とコメント	6	1505—1506
部辺羅諏訪人・山形俊男: 回答	6	1507—1509

学会誌「天気」の論文・解説リスト

学会誌「天気」の論文・解説リスト (2002年11月号・12月号)	191
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2003年1月号・2月号)	437
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2003年3月号・4月号)	633
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2003年5月号・6月号)	893
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2003年7月号・8月号)	1299—1300
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2003年9月号・10月号)	1511

水資源学シンポジウム「転換期を迎えた水資源学～水資源管理変革前夜」

1992年12月に開催された第47回国連総会本会議において、毎年3月22日を「国連水の日」とすることが決議され、水資源の開発・保全等に関して会議、セミナーなどの開催や出版活動を行うことにより人々の水に関する認識を高めるように提唱されました。これを受けて、例年「水資源学シンポジウム」を開催しています。本年は3月23日(火)に日本学術会議講堂において「転換期を迎えた水資源学～水資源管理変革前夜」をテーマに開催することになりましたので、多数ご参加いただくようご案内申し上げます。(入場無料)

主催: 日本学術会議水資源専門委員会 水文・水資源学会 国土交通省

後援: 日本気象学会 土木学会 日本林学会 日本地下水学会 日本水環境学会 日本水産学会 農業土木学会 空気調和・衛生工学会 砂防学会 日本水道協会 日本下水道協会 国際連合広報センター IWRA(国際水資源学会) 国内委員会 IWA(国際水協会) 国内委員会 アジア太平洋水文水資源

開催日: 平成16年3月23日(火)
[国連水の日 = 3月22日]

会場: 日本学術会議講堂
(東京都港区六本木7-22-34)
(地下鉄千代田線「乃木坂」下車すぐ)

参加申込: 平成16年3月16日(火)までに、住所、氏名、所属を下記参加登録先まで、FAX、郵送、

E-mailにて登録願います。

参加登録先:

〒100-8918 東京都千代田区霞ヶ関1-2-2
国土交通省水資源部水資源調査室
Fax: 03-5253-1582
E-mail: mizcho@mlit.go.jp

プログラム

- 10:00 開会挨拶
- 10:15 基調講演 「転換期を迎えた水資源学」
(池淵周一 京都大学防災研究所教授)
- 11:00 報告～転換期の諸相分析
 - ① 水資源全般
 - ② 農業用排水
 - ③ 都市用水
- 12:15 休憩
- 13:15 報告～転換期の諸相分析(続き)
 - ④ 地下水利用
 - ⑤ 森林・砂防
 - ⑥ 水質・生態系
 - ⑦ 流域・水資源管理の社会制度
- 14:55 休憩
- 15:15 総合討論
- 17:00 閉会挨拶

問合せ先: 国土交通省水資源部水資源調査室

吉田, 桐原, 有馬
Tel: 03-5253-8390, Fax: 03-5253-1582